

JAAC だより

— 求められるリーダーシップとは何か —

～ “リーダーシップ”はエゴや独裁とは違う ～

今年も本格的な就職活動が始まりました。既に、企業合同面接会やジョブフェアなどに参加されている JAAC 生の皆さんも多いことでしょう。最近では就職氷河期などと言われているように、大学卒業時に就職が決まっている学生は 82% 程度と言われています。年々、企業が学生に求める資質が厳しくなっているようですが、特に最近の傾向として、多くの企業はリーダーシップを発揮できる人材を求めているようです。リーダーシップという言葉から人の上に立つという意味を想像しがちですが、果たして本当にそうでしょうか。確かに、リーダーとはあるグループ（もしくは複数の人々の集まり）をまとめ、統率する人の総称として使われています。しかしながら、そこで私たちが最も注意しなくてはならないことは、リーダーとは決して自分のエゴを押し通す人のことではないということです。ましてや、独裁者では決してありません。今回は、ここで言うリーダーシップとはどういうことを言うのか、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

皆さんの中にも、中学や高校時代にクラブの部長や生徒会の会長といった、リーダー的な立場を経験した人もいることでしょう。また、サッカーや野球、バスケットボールやバレーボールといったチームスポーツのキャプテンを務めた方もいることでしょう。キャプテンとしてキャプテンシーを発揮することは、リーダーとしてリーダーシップを発揮するというと同じ意味だと言って良いと思います。それは異なる二つの言い表し方ですが、共通して言えることはどちらも“共通の目的や目標に向かって人をまとめ、導く”ということだと思います。そのためには、論理的な考えを持ち、それを表現し、相手に理解してもらうことが必要ですね。論理的な考えとは、個人の主観だけに頼る意見や考えではなく、客観的な数値や論証された理論を基に自分の考えとして確立させたものです。そして、そのことを相手が納得して、理解してもらうだけの表現力も必要になります。『頭の中で考えていることはたくさんあるのに、それが相手にどうしても伝わらない』ということってよくありますよね。つまり、どんなに立派な考えを持ち合わせていても、それを相手に正しく伝えることができなければ、結局、その考えは無いも同然になってしまうのです。表現力というのは、ものの言い方だけではなく、同じことを言うにしてもどんな言葉を使えば良いのかという語彙力も大いに関係するものです。そして、それらの言葉によって相手の気持ちも高揚し、勇気付けられ、そして一丸となって共通の目的や目標に向かって邁進できるよう導かなくてはなりませんね。

リーダーシップを執る際に、一番重要視されるのはその人の人間性だと思います。どんなに豊富な語彙力と表現力を持っていても、その人に相手の気持ちを動かすだけの人間的な魅力や、相手に信じてもらえる信頼感がなければ、人をまとめることはできないのです。十人十色と言うように、それぞれの人間が異なる考えや意見を持っています。その人たちの意見に耳を傾け、その上で気持ちを一つにまとめるのは容易なことではありません。相手の意見や気持ちを考えずに、自分の意見だけを押そうとしたり、白熱した議論の場でただ相手を論破することだけを試みようとするれば、それは自分の我を通そうとするエゴになり、独裁的な姿勢になってしまいます。これではもはやリーダーシップ云々というより、単に自分の意見をごり押ししているに過ぎません。普段から相手の気持ちを尊重し、お互いに理解し合おうとする姿勢を持つことによって、相手からも信頼を得ることができることでしょう。

こうしてみると、リーダーシップには実に多くの資質が要求されていますね。物事を論理的に考えて結論を導き出す力、それらを言葉に表す語彙力、表現力、そしてなによりも相手に理解してもらうコミュニケーション力などが必要なんですね。その上で、相手から信頼を得るための人間性が問われるのです。人々の心を一身に集めることができる力を、『その人の求心力』とも言われていますが、それはリーダーには欠かせないとても重要な要素なのです。多くの企業がリーダーシップを発揮できる人材を求める理由が何となく分かるような気がしますね。リーダーとは、自分でなりたいと思ってなるものではなく、周りの人たちからそれに相応しいと認められて、初めてなれるものです。結局のところ、企業が言う『リーダーシップを発揮できる人材』とは、『リーダーに必要な資質を持っている人材かどうか』と置き換えて考えるべきなのではないでしょうか。こうしたリーダーに必要な資質を見てみると、今までにも本誌で皆さんと一緒に考えてきた“人間力”そのものだと思いますが、いかがでしょうか。

(カリフォルニア事務局： 照井)

- ● 家族のあり方 ● - (2)

“文化の違い、価値観の違い”

前号では“家族のあり方”はそれぞれの国の文化や価値観、歴史的な背景によって異なるというお話をしました。確かにその通りですね。今回は、家族を構成する人たちのそれぞれの役割について少し考えてみたいと思います。一般的に言われていることとして、日本は血縁主義を重んじている国であり、その最も近い血縁関係の人たちによって親戚関係が成り立ち、その姓を継承する“家”が構成されています。父と子、母と子の関係には血縁関係が存在しますから親子であり、家族でもあります。しかしながら、父と母、夫と妻という関係からみると両者には血縁関係がありません。それでも、“家族”という名の下にまとまって生活をしています。この場合の“家族”の“家”というのは、実際の親子で構成している“家族”と、親戚など同じ姓を名乗る“家”の両方の意味合いがあると思われます。これは日本独特の“家制度”という文化から生まれた考え方だと思います。では、欧米ではどうでしょうか。英語で家族は『Family』と言いますが、この言葉自体はラテン語の『Famulus』を語源としていて、本来の意味は『家の使用人や、家の手伝いをする人』という意味です。つまり、『人』を中心として考えているわけです。このことから、日本の場合は『家』という集団を重んじ、欧米の場合は『そこに住む人』を中心に物事を考えると言われています。では、そこに住む人たちの役割はどのようなものなのでしょう。男性は妻に対して夫としての役割があり、子供に対しては父としての役割が生まれます。女性の場合も同様に、夫に対する妻としての役割と子供に対する母としての役割も併せ持つこととなりますね。これは日本も欧米も同様のようです。しかし、親と子の関係ということには日本と特にアメリカでは大きな違いが見られるようです。アメリカでは子供を養子に迎えるということを比較的容易に考えているようです。養子を迎えた家族では、たとえその子との血縁関係がなくても、その子に対する父親と母親としての義務と役割と果敢とする傾向が強いようです。これは見方によると、父親と母親というあたかも一つの“職業”に就くことを意図的に意識しているようにも見受けられるのです。そして、一旦、養子縁組が確立すると、親になった人たちは親として、保護者としての義務を果たすことが法律で定められるのです。これは日本でも同様ですが、血縁主義を重んじる日本では“親と子の関係”について、アメリカのような家族のあり方を容易に真似ることはできないようですね。

(次号に続く) (カリフォルニア事務局： 照井)

カリフォルニア通信

(カリフォルニア担当：新井 康平)

【皆さん、運転にはくれぐれも注意しましょうね】最近、私の周りの学生がちよっとした車の接触事故や、駐車場でのご迷惑などによって逃げなどに遭ったりすることが頻発していました。いずれも人身事故になるようなことでなく、不幸中の幸いで終わってホッとしているところです。ご存知のように、アメリカは車社会です。ここアーバインも路線バスがありますが、やはり一般の人々の暮らしは車がないとやっていけません。車に対する考え方が日本とは異なるので、普通の日本人には到底考えられないことが日常で起ることもままあります。日本でもアメリカでも車を大事にする人は大勢いますが、中には車は単なる移動の手段と考える人もいて、自分の車で相手の車を擦ってキズを付いたり、ぶついたりすることにあまり気を留めない人もいます。まるで、自分が通りを歩いている時に、隣りを歩いている人に肩が触れた程度にしか考えていない人がいるのですから、こちらとしてはたまったものではありません。こればかりは、いくら自分が気をつけて運転していても、相手があることですからどうしようもないのでしょうか。学生の皆さんにも、特にフリーウェイを走行する際には四方の車との車間距離に十分気をつけるように注意してくださいね。これからもっと暑くなってくると、外にいるだけでポーっとしがちです。ハンドルを握ったら運転に意識を集中できるように心がけることが大切だと思います。私も過去に何回か駐車場で車を置いている間にぶつけられたり、簡単な接触事故を経験したこともあります。いずれにしても、保険に入っていたおかげで何とか処理することができました。皆さんが加入されている保険は万全ですか？この機会にもう一度確認しておきましょう。

ミズーリ通信

(ミズーリ担当：ライマン・ピットマン)

【適切なペース配分というものがあるのです】映画や小説、スポーツの世界でも言われているように、留学生の勉強も適切なペース配分とペース作りが成功への鍵です。自分のペースを作るということは、単にその『計画』を立てることではなく実際に『行動』することです。ほとんどの場合、留学生はアメリカに来て早い時期に自分の勉強のスタイルとペース配分を決めるようです。のんびり気分で授業を受け、出席率も悪ければ成績も低くなり、場合によっては同じ授業を最履修する羽目になってしまいます。毎年、少数ではありますがこのような学生がいます。気がつけばクラスの仲間が次々に自分を追い越していくという劣等感を味わい、結果として先生方が心配することになるのです。また、反対に早すぎるペースも、遅いペースと同じように心配な点があります。英語研修をなるべく早めに卒業することは一見良さそうに見えますが、必ずしもそうではありません。大学への早すぎる進学は、英語力不足などによって進学後の勉強に影響を与えるからです。言い換えれば、TOEFLやIELTSのスコアは全てを保証するものではないのです。比較的上手く英語を話せる学生は、その英語力を過信することもあります。ましてや、早く卒業できるということだけで専攻科目を選ぶのであれば、留学そのものの意味が台無しになってしまいます。旅行をするときでも、旅程を詰めてあまりにも多くの場所を訪れるようにすると、旅をすること本来の魅力に欠けてしまいがちですね。適切な歩みと期間を費やして、卒業というゴールに向かって旅をすることが望ましいことで、その旅の途中には思いがけない発見もあるのです。それこそが、旅の醍醐味というものではないでしょうか。

Siesta ちょっと、一休みしませんか…？

～ Crush, Crash, Clash ～

突然、何のことだろうと思われた方が多いでしょうね。ところで、これらの単語の発音って紛らわしいと思いませんか？ “突然” のついでに、I have a crush on him. の意味がお分かりになりますか？ すぐに分かったかたは、恋多き人かもしれませんね・・・(笑)。和訳すると、『私は彼に片思いなんです』という意味になります。『～彼女に片思い』とするなら、文末の単語の him を her に変えてあげれば良いのです。crush は『惚れ込む、片思い』の意味で、have a crush on ～で『～に片思いする』とか、時には『一目惚れする』などの意味に使われる慣用表現です。皆さんもきっと、今までの人生の中で何度か使ったことがある表現ではないでしょうか。それにしても、これらの3つの単語の発音は本当に紛らわしいですね。日本人には特に不得手な発音だと思います。2つ目の crash は『墜落する』という意味で使われ、clash は『衝突する』という意味ですね。どちらも、というより3つ全てが同じような音で発音する単語ですね。でも、意味はそれぞれ異なります。先日、ある学生の一人がこの文をアメリカ人に言ったら、何回も発音を矯正されたというお話でした。でも、これらの発音の使い分けは本当に難しいですね。『クラッ・・・、クレア・・・、クラ～・・・』、ああ、もうダメだ。(泣)

Help Line

FAQ

「夏休みに海外に行けますか…？」

A: 夏休み中に日本以外の海外に行くということですね。もちろん行くことができます。アメリカから出国して海外に行く時は、日本に帰る時と同じように在学している学校の留学生事務局などに入学許可証 (I-20) を持参して、必ずアメリカに再入国できるように手続きをしてください。カナダやメキシコはアメリカに接している国で、普段から多くのアメリカ人が車で自由に往来していることから、パスポートがあれば大丈夫だと誤解して行ってしまうケースが良くあります。そして、旅行で訪問する国によっては、査証 (VISA) が必要な国もありますから、必ず旅行会社等に事前に確認することを忘れないでください。また、在学校の留学生事務局などで、いつまでにアメリカに戻らなくてはならないのかを確認しておいてください。パスポートの有効期限も併せて確認しておきましょう。また、旅行の計画を立てたら、JAAC カウンセラーにも必ず相談の上、旅行の報告をしてください。

【編集後記】●ついこの間、参院議員の改選選挙があった。政権を担っている民主党はこれからどうなってしまうのだろうか。大きな政界再編があるかもしれない。9月には衆院議員の選挙もある。しばらくは目が離せないな。それにしても、今回の参院議員選挙にもやはり多くのタレント議員が出ていたな▼いや～ッ、サッカーのワールドカップでは日本代表チームは良く頑張ったね!!! 私もテレビにかじりついて応援していました。本当に良くやった!!! サムライ・ジャパンを誇りに思うよ■あと少しで梅雨も明けそうだ。それにしても、ここ何日か九州や南日本の各地で大雨による災害が出ている。山が崩れ、川の水が溢れて橋が流されたりしている。犠牲者も出ている。毎年のように起る災害で命を失う人も多い。決して他人事ではない▲それにしても暑い。日中は30度を越える日が多くなってきた。先日、ニューヨークでは40度近くまで気温が上がったそうだ。地球温暖化の影響が危ぶまれる。世界はこの先、本当に大丈夫なのだろうか★JAAC 生の皆さんにおかれましては、日本で夏休みを過ごされる方や、友人同士で旅行に行かれる人もいるようですね。どうか有意義な夏休みを過ごしてください。(照井)

Let me remind you . . .

★JAAC 生の皆さん、保護者の皆さん、何でもお気軽にご相談ください

▲新型インフルエンザ (インフルエンザ A (H1N1)) における注意喚起終了のご案内：厚生労働省からの情報を基に、新型インフルエンザにおける注意喚起を終了いたします。今後は個人的に体調の管理に努めていただきますようお願いいたします。

★米国及び日本で開催されるジョブフェアやキャリアフォーラムへの参加：2011年・2012年卒業予定の皆さんにおかれましては、日本や米国各地で開催されるジョブフェアやキャリアフォーラム、海外大生を対象とした就職説明会などに積極的に参加されることをお勧めいたします。インターネット等でこれらのフェア開催日程を調べ、前もって皆さん各自のスケジュール調整を行い、多くの企業担当者やフェア開催団体のカウンセラーとの面談に努めてください。

※今年のポストン・キャリアフォーラムの予定は、<http://www.careerforum.net/event/bos/> を参考にしてください。

▼帰省中に留学ビザ (F-1) やパスポートの更新手続きをされる方へ：留学ビザの更新手続きには、留学後に在籍した全ての学校の成績証明書が必要です。また、現在在籍している学校から更新された入学許可証 (I-20) を持って帰ることが必要です。必要書類等についてはJAAC 本部またはJAAC カウンセラーに早めにご相談ください。

●JAAC 本部内保護者様専用ご連絡・ご相談窓口：

フリーダイヤル 0120-525-626 tokai@jaac.co.jp 担当：高瀬

JAAC 日米学術センター 鈴木：t.suzuki@jaac.co.jp ©カリフォルニア担当：照井 k-terui@mtg.biglobe.ne.jp